1. 復興の現状

2. 復興の最優先課題

3. 復興のリーディングプロジェクト

4. 復興とは

5. 気仙沼の生き方

# 1. 復興の現状



## 復興の現状〔被災の状況〕　〔平成26年11月10日現在〕

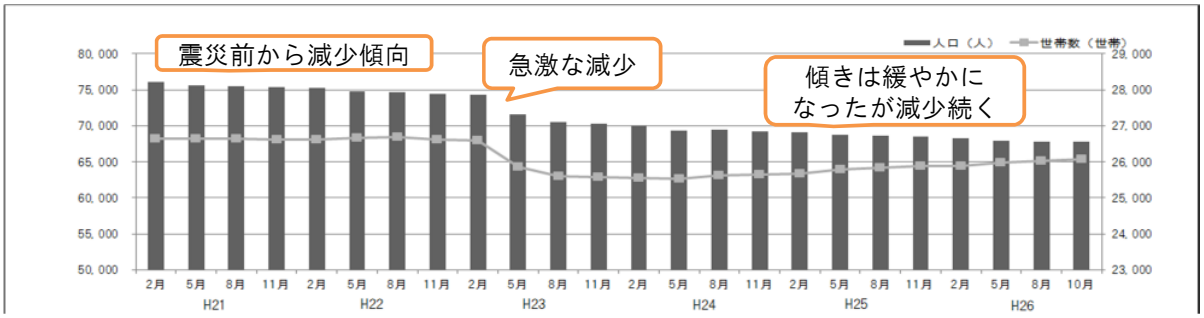
**死　者　数：　１，０４２人**（身元不明2人）〔警察発表〕
**行方不明者数：　２２６人**〔警察発表〕
**震災関連死：　１０７人**（平成26年11月7日審査会時点）

**被災家屋　：２６，１２４棟　〔全体の約40.9%〕**〔H26年３月末現在〕
（全壊16,459 大規模半壊2,307 半壊1,893 一部損壊5,457）

**被災世帯数　：約９，０００世帯**

**人口・世帯数の変遷**

| | 平成23年 2月末(A) | 平成24年 2月末(B) | 平成25年 10月末(C) | 平成26年 10月末(D) | D－A | D－C |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 人口(人) | 74,247 | 69,986 | 68,584 | 67,749 | ▲6,498 | ▲835 |
| 男(人) | 35,950 | 33,879 | 33,279 | 32,913 | ▲3,037 | ▲366 |
| 女(人) | 38,297 | 36,107 | 35,305 | 34,836 | ▲3,461 | ▲469 |
| 世帯数 | 26,601 | 25,555 | 25,883 | 26,071 | ▲　530 | 188 |



# 復興の現状　〔居住環境〕

## 応急仮設住宅(プレハブ型)入居状況 当初建設戸数　93箇所 3,504戸うちグループホーム45戸

| | 平成24年 1月18日<br>(最も多いとき) | 平成26年10月末<br>(現在) |
|---|---|---|
| 入居戸数(戸)【入居率】 | 3，360【95.9%】 | 2，842【81.1%】 |
| 入居世帯数(世帯) | 3，155 | 2，671 |
| 入居者数(人) | 8，288 | 6，219 |

## みなし仮設住宅(民間賃貸)の状況(気仙沼市申請受付分)

| | 平成24年 1月31日<br>(最も多いとき) | 平成26年10月末日<br>(現在) | 県内他市町村<br>＋岩手県内 |
|---|---|---|---|
| 件数(件) | 1，602 | 925 | 298件 |
| 入居者数(人) | 4，737 | 2，383 | 699人 |

**恒久的な住まい確保に向けた取り組みの更なる加速化が必要**

**防　集　団　地：　27年度末 45箇所951区画(98.4%)引き渡し予定**

**災害公営住宅：　27年度末 24地区1,545戸(71.6%)完成予定**

**28年度末 27地区2,027戸(93.9%)完成予定**



# 復興の現状　〔産業〕

## 気仙沼市魚市場の水揚げ

| | H22年 | H23年 | H24年 | H25年 | H26年(1月～10月) |
|---|---|---|---|---|---|
| 数量(トン)<br>H22年比(%) | 103,609<br>(　－　) | 28,099<br>(27.1) | 57,676<br>(55.7) | 61,785<br>(59.6) | 61,685<br>(74.5)※ |
| 金額(千円)<br>H22年比(%) | 22,500,409<br>(　－　) | 8,525,805<br>(37.9) | 14,295,509<br>(63.5) | 15,654,658<br>(69.6) | 14,628,829<br>(80.0)※ |

※H22年同時期比

## 観光客の入込み数及び宿泊者数※宿泊者数には復興支援・作業関係者などを含めていない。

| | H22年 | H23年 | H24年 | H25年 |
|---|---|---|---|---|
| 入込み数(人)<br>H22年比(%) | 2,540,589<br>(　－　) | 432,600<br>(17.0) | 784,450<br>(30.9) | 1,019,400<br>(40.1) |
| 宿泊者数(人)<br>H22年比(%) | 203,287<br>(　－　) | 39,895<br>(19.6) | 93,499<br>(46.0) | 151,045<br>(74.3) |

## 農地の復旧状況 (復旧整備面積　521ha)※完了面積は積み上げ

| | | H23年度末 | H24年度末 | H25年度末 | H26年10月末 |
|---|---|---|---|---|---|
| 完了面積(ha)<br>復旧整備面積比(%) | | 103.64<br>(19.9) | 126.19<br>(24.2) | 162.55<br>(31.2) | 166.0<br>(31.9) |

**確実に上向いているが，復興はまだ道半ば**

↓

**早期の主要産業の復活が本市経済の再生に不可欠**

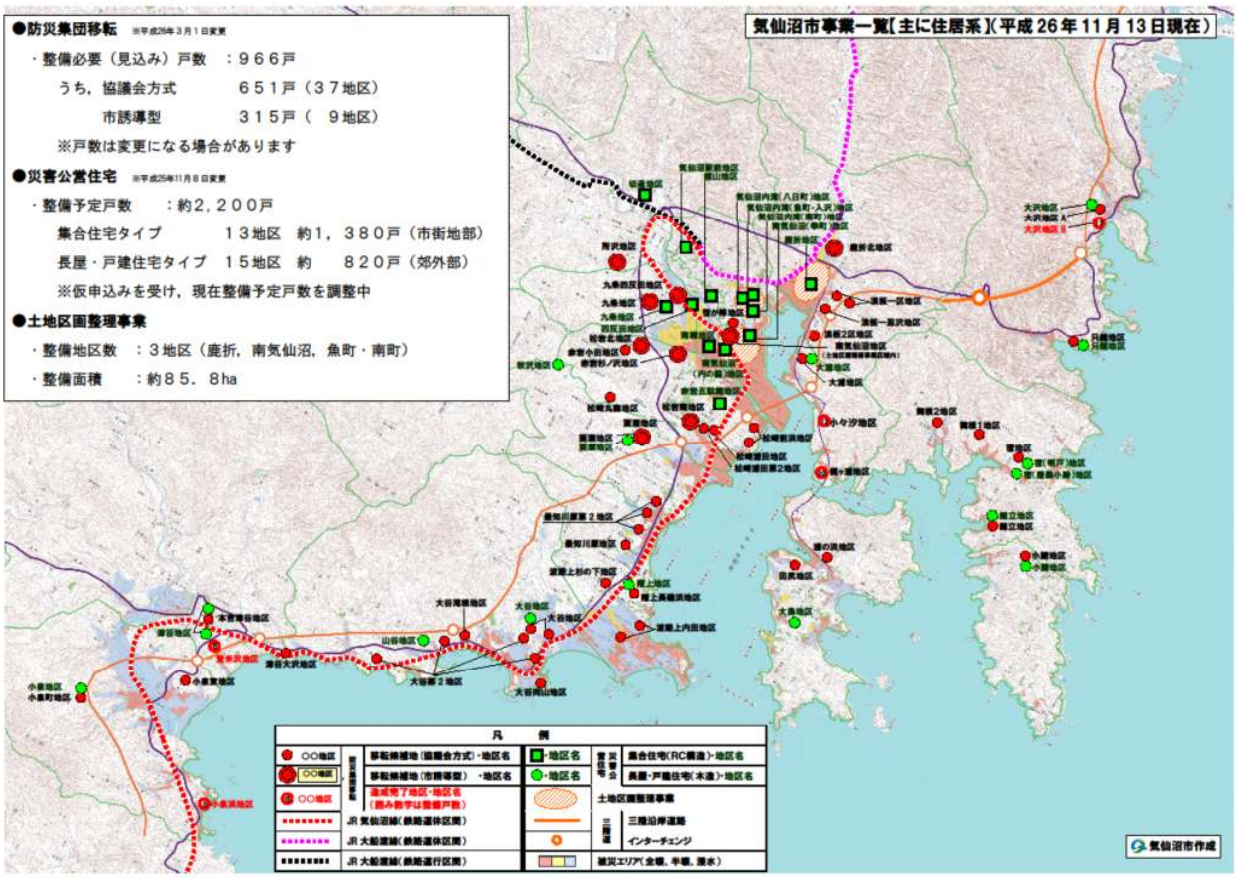
# 2. 復興の最優先課題

・住宅再建

・産業再生



## 住宅再建 :防災集団移転、災害公営住宅、土地区画整理



# 住宅再建 ：防災集団移転促進事業

面瀬地区完成イメージ

←宅地整地造成中の
大沢Ａ地区

撮影協力 ＡＲＨ

完成した登米沢地区→
（Ｈ26.3.28竣工式）

■引き渡し予定

| 年度 | 箇所数 | 区画数 | 全体区画数に占める割合 | 地区名（下線は引き渡し開始済み箇所） |
|---|---|---|---|---|
| H25 | 1箇所 | 6区画 済 | 0.6% | 登米沢 |
| H26 | 20箇所 | 270区画<br>うち43区画 済 | 28.6% | 舞根２区，大沢Ａ，大沢Ｂ，只越，梶ヶ浦，小々汐，波路上内田（内田），波路上杉ノ下，松崎前浜，大谷向山，赤岩小田，本吉町津谷，小泉東，小泉浜，松崎丸森，津谷大沢，田尻，九条住宅団地，松岩南住宅団地，所沢住宅団地 |
| H27 | 24箇所 | 675区画 | 98.4% | 階上長磯浜，小泉町，小鯖，舞根１区，大浦，浪板２区，波路上内田(杉ノ下)，最知川原，松崎浦田，浦田第２（旧赤岩石兜），鮪立，笹ヶ陣，宿，大谷，浪板一，浪板一忍沢，最知川原第２，面瀬，鹿折北住宅団地，九条四反田住宅団地，赤岩杉ノ沢住宅団地，松岩北住宅団地，面瀬住宅団地，大谷第2，浦の浜 |
| H29 | 1箇所 | 15区画 | 100.0% | 南気仙沼 |
| 合計 | 46箇所 | 966区画 | ― | |



# 住宅再建 ：災害公営住宅整備事業

←集合住宅
タイプ
（南郷地区）
全体パース

←長屋・戸建
住宅タイプ
パース

躯体工事中→
の集合住宅
タイプ
（南郷地区）

↑災害公営住宅モデルルーム
（公開中）

撮影協力 ＡＲＨ

↑階上地区災害公営住宅（戸建て
長屋タイプ）の建設箇所

■完成予定

| 年度 | 地区数 | 戸数 | 全体戸数に占める割合 | 地区名（市街地） | 地区名（郊外） |
|---|---|---|---|---|---|
| H26 | ２地区 | 241戸 | 11.2% | 南郷 | 階上（1工区） |
| H27 | 25地区 | 1,304戸 | 71.6% | 鹿折（※2），内湾（魚町・入沢），内湾（南町），内湾（八日町），四反田，南気仙沼（幸町），南気仙沼（内の脇），舘山，九条，赤岩五駄鱈，切通 | 大沢，只越，宿（明戸），宿（旧唐桑小跡），鮪立，小鯖，大浦，牧沢（1工区），階上（2・3工区）大島，大谷，山谷，津谷，小泉町 |
| H28 | 4地区 | 482戸 | 93.9% | 気仙沼駅前（先工区），内湾（魚町・入沢） | 牧沢（2・3工区），面瀬 |
| H29 | 1地区 | 131戸 | 100.0% | 気仙沼駅前（後工区） | |
| 合計 | 28地区 | 2,158戸 | ― | | |

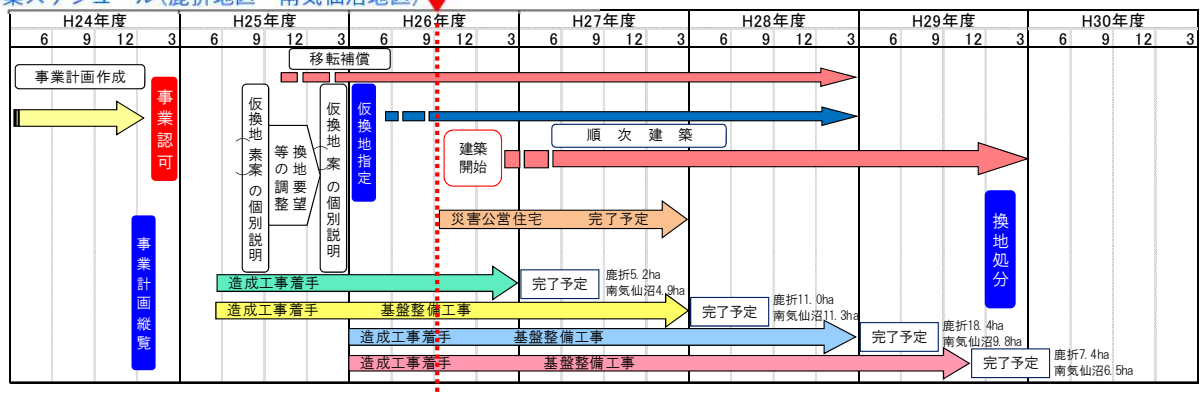
※１　各年度の地区数の和は，完成年度が複数に分かれる地区があることから，合計と合致しません。
※２　鹿折地区については，入札不調により工期等を調整中

# 住宅再建 ：土地区画整理事業（南気仙沼，鹿折，魚町・南町）

南気仙沼地区の
完成予想図

南気仙沼地区の
現況（旧河北ビルから田中前方向を撮影）

事業スケジュール（鹿折地区・南気仙沼地区）

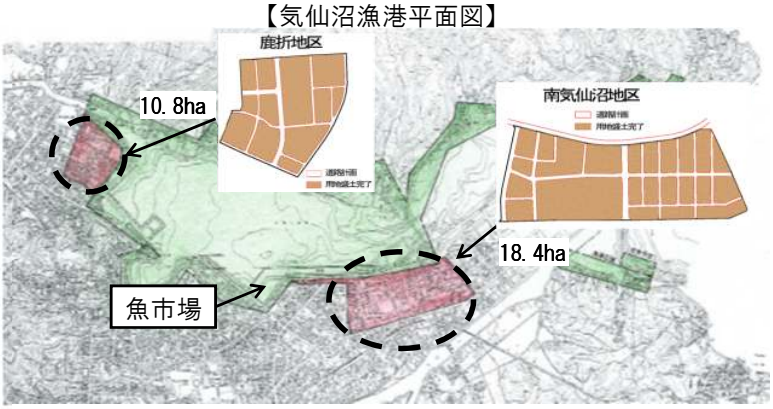





# 産業再生～日本一活気溢れる水産都市の実現～鹿折、南気仙沼水産加工施設等集積地

集積地内に完成した
水産加工施設

【気仙沼漁港平面図】




**鹿折地区**（立地企業数：22）　**南気仙沼地区**（立地企業数：61）

H24年度～25年度　**盛土嵩上げ工事　完了**

↓　　↓ 市から企業等へ譲渡・貸付

H25年度～26年度　**道路等インフラの整備**　　H25年度～　**立地企業による建設**

↓　　↓

**立地企業による操業開始**

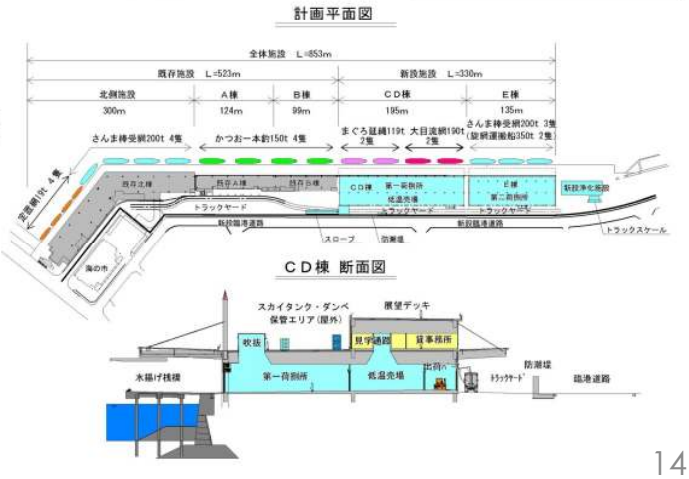
# 産業再生～日本一活気溢れる水産都市の実現～赤岩港水産加工団地

・事業面積　:20ha（分譲予定用地:12ha)
・事業予定者数　:14社　・平成27年12月完成予定



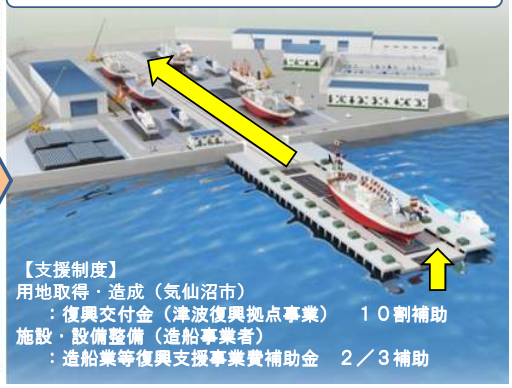
# 産業再生～日本一活気溢れる水産都市の実現～高度衛生管理対応型魚市場の建設

総延長 :L　=853m
　　単一の魚市場として日本有数
特　長　:閉鎖型荷捌所や低温売場などによる高度衛生管理に対応した魚市場。 カツオ，サンマ，マグロ，カジキ，サメなどの水揚げを見ることができる見学スペースやクッキングスタジオを設置し，観光面にも配慮
完成予定:平成28年度



# 産業再生　～水産クラスターの再形成～　津波対応型造船施設の整備

高度集約化による造船施設の発展的復興



整備予定箇所

**基幹産業である水産関連産業の発展のために下支えする造船産業の復興が不可欠**

【事業の特徴】

- 造船施設の**高度集約化による造船能力の向上**
- 防潮堤内に船舶を上下架できるシップリフト方式を採用することにより、**津波災害時に造船機能の維持が可能**
- 水産加工工場等の周辺施設に配慮した粉塵防止・排水処理等の**最新の環境対策設備の導入**

**三陸沿岸最大の漁船造船施設の整備による気仙沼水産クラスターの競争力強化**



# 産業再生　観光戦略会議

## 観光戦略の概要

□ 計画期間　　H25年度～H34年度

・3つの将来像

1. 気仙沼の強みを活かした観光振興
2. ビルド･バック･ベター
3. 人とのつながりを大事にするまち

・数値目標

| | 入 込 数 | 宿泊者数 |
|---|---|---|
| （震災前数値 | 260万人 | 21万人） |
| → 短期（3年以内） | 150万人 | 30万人 |
| → 中期（6年以内） | 250万人 | 39万人 |
| → 長期（10年以内） | 330万人 | 62万人 |

□ 中核的な「2大戦略」

戦略1　**気仙沼ならではのオンリーワンコンテンツを活用した誘客戦略**
①魚市場を中心とした港資源と食ブランド　　②震災の遺構と伝承、復興する人々

戦略2　**水産業と観光産業の連携･融合による新たな付加価値創造戦略**
魚市場周辺への観光総合サービス拠点の設置等

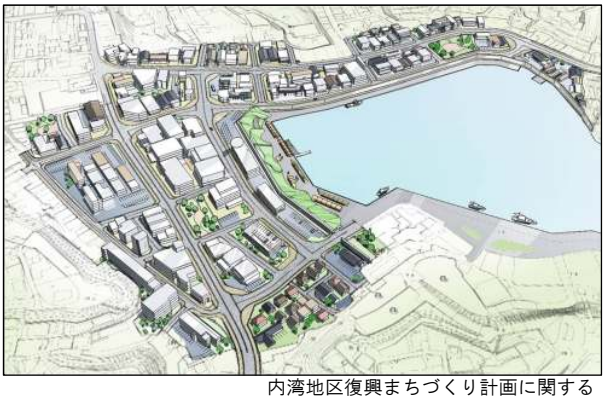
･戦略の中核的推進機関の設置(平成25年6月)
→(一社)リアス観光創造プラットフォームの設立

･観光推進特区の認定（平成25年6月）
→ 観光関連産業の復興推進と集積化
平成26年9月末現在　延べ71事業所

観光コンテンツに関する会議の様子

# 産業再生　水産業と観光産業の融合

## 内湾地区



内湾地区復興まちづくり計画に関する
提言書ver1.0に基づく完成予想図

- 気仙沼の顔
- 神明崎の遊歩道
- 南町海岸にウォーターフロント
- 港町の一部は無堤化

## 海 の 市

- H26年7月19日グランドオープン
（震災前は年間100万人以上が来訪）
- 1階：鮮魚・物産店舗8店、飲食店3店
- 2階：飲食店1店、ｼｬｰｸ･ﾐｭｰｼﾞｱﾑ
（震災復興関連シアター設置）
- 市では2階に観光サービスの拠点施設
「観光サービスセンター」を設置



# 産業再生　新 観光資源

## 三陸ジオパーク

気仙沼市内
20ポイント(地点)
・岩井崎(潮吹岩)
・秀ノ山雷五郎像
・十八鳴浜
・巨釜・折石
・神の倉の津波石
・大谷・鹿折金山跡
・大谷・大沢海岸
など

復興かき小屋　唐桑番屋

気仙沼市観光キャラクター
「海の子　ホヤぼーや」

**気仙沼漁師カレンダー2014**
第65回全国カレンダー展経済産業大臣賞受賞

# 3. 復興のリーディングプロジェクト

・三陸沿岸道路

・大島架橋

・市立新病院



## 復興のリーディングプロジェクト ～交通網～ 三陸沿岸道路

市内に９つの出入口

※階上からの
アクセス検討中

## 復興のリーディングプロジェクト～交通網～

## 三陸道気仙沼湾横断橋

ライトアップ計画中

☆橋の全長：L=1,344m（斜張橋部分：L=680m）

**→斜張橋では東北地方最長になる見込み**

☆平成26年6月29日着工式開催



## 復興のリーディングプロジェクト～交通網～大島架橋

橋　長　　：L=*356m*　中路アーチ型
幅　員　　：W=9.5m　（車道7.0m，歩道2.5m）
本土側アクセス：*2* つのトンネル
大島側アクセス：*3* つのトンネル
} *H26年9月25日 全て貫通*
完成予定：*平成30年度*
*H26年11月15日　大島架橋本体工事着工式*

## *復興のリーディングプロジェクト* ～医療の充実～

## 市立新病院建設事業

診療科数：*18科*

ベッド数：*340床*（一般336床、感染症4床）

※一般病床のうち48床は回復期リハビリテーション病床

開院予定：*平成29年11月（平成26年9月9日起工式）*

場　　所：赤岩杉ノ沢地内、国道45号気仙沼バイパス沿い



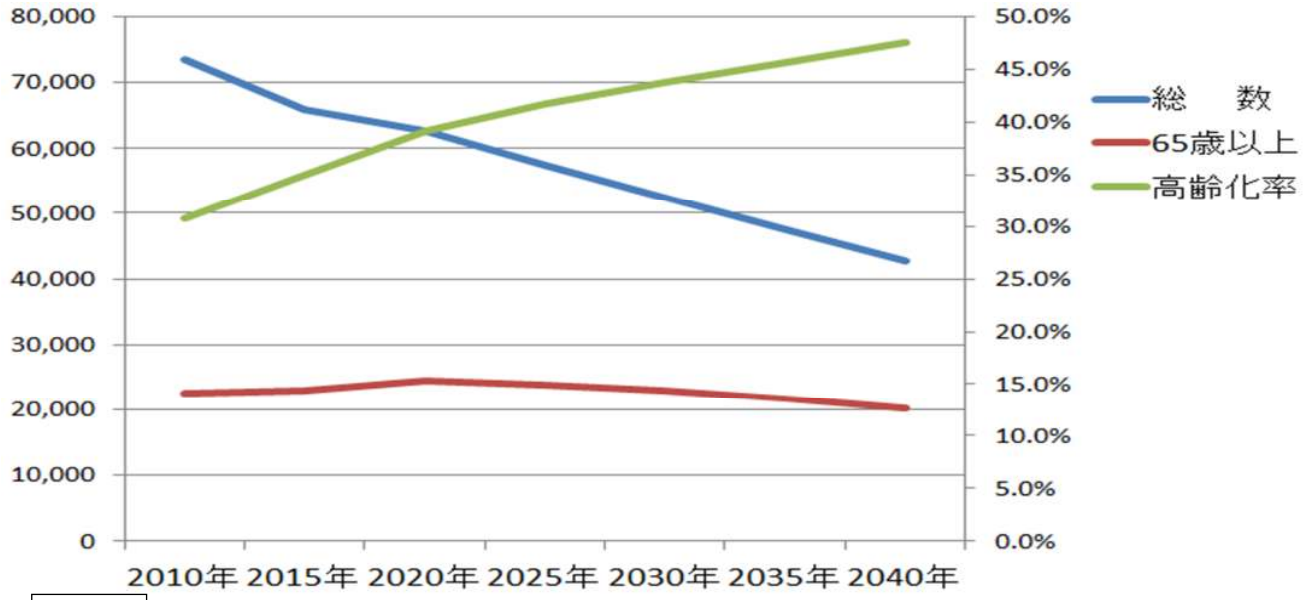
# *4　復興とは*－人口減少に挑む－

**復興は地域が抱える**

**社会課題の解決であるべき**

# 人口減少に挑む～2040年の気仙沼市（人口推移予測）～

【国立社会保障・人口問題研究所：H25.3月推計】




100%　　58%

| | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総　数 | 73,489 | 65,804 | 62,561 | 57,495 | 52,394 | 47,435 | 42,656 |
| 65歳以上 | 22,624 | 23,030 | 24,466 | 23,968 | 22,946 | 21,648 | 20,257 |
| 高齢化率 | 30.8% | 35.0% | 39.1% | 41.7% | 43.8% | 45.6% | 47.5% |



# 人口減少に挑む～若年女性人口の減少～

【日本創成会議資料より】

○人口移動が収束しない場合，全国1,800市区町村中

- 若年女性50%以上減少　896自治体　49.8%
  （20～39歳）
  →消滅可能性都市

- 上記かつ人口1万人未満　523自治体　29.1%
  →より消滅可能性が高い自治体

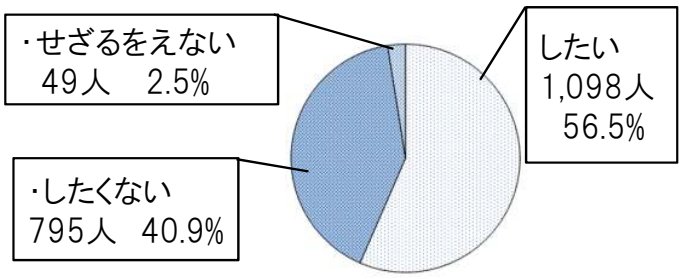
| | 2010年 | 2040年 |
|---|---|---|
| 気仙沼市の人口 | 73,489 | 38,925 |
| うち，若年女性人口 | 6,197 | 2,188 |
| 若年女性人口変化率 | ― | ▲64.7% |
| 宮城県の人口 | 2,348,165 | 1,942,672 |
| うち，若年女性人口 | 297,749 | 178,171 |
| 若年女性人口変化率 | ― | ▲40.2% |
| 日本の人口 | 128,057,352 | 106,059,786 |
| うち，若年女性人口 | 15,842,128 | 10,075,475 |
| 若年女性人口変化率 | ― | ▲36.4% |

## 人口減少に挑む～高校生の気持ち～

### 高校生アンケート　H25年12月調査実施

【対象：市内各高校に通う全生徒　配布数2,111　回収2,032(96.3%)】

Q:将来，気仙沼市（地元）に帰郷・定住したいか？　〔回答数：1,942人〕




**・帰郷・定住したくない理由**

26.3%：不便,田舎，店・娯楽施設がない，都会で暮らしたい。

23.8%：職業選択の幅がせまい，仕事が少ない，給料が安い

22.8%：自立したい，自分の力を試してみたい，世の中を見たい，新しい場所で生活したい。

Q：進学等で一旦地元を離れた方々が，将来帰郷し定住するためには，どのような市・まち，就労環境であることが必要と思うか？〔重複回答〕

・526人　33.3%: 職種の幅を増やす，給料を上げる，安定した収入，働き口がある。
・200人　12.7%: 娯楽施設，ショッピング関係，集まれる場所
・177人　11.2%: 交通網の整備・充実
以下　・活気溢れるまち　・子育て環境など生活面の安全安心　・復興・防災　・特になし



## 人口減少に挑む ～ Uターンのために・活躍の場～

- **ゴーヘイ！気仙沼の会**（企業誘致）
- **COMPLEXファンド**（起業・新製品創出）
- **気仙沼水産資源活用研究会**（新製品，Ｕ・Ｉターン）
- **気仙沼市造船施設整備高度化事業**（Ｕ・Ｉターン）

## 人口減少に挑む ～ 経営者の意識改革～

- □ 人材育成道場「経営未来塾」
  1期(2013年4月～10月)　:16名
  2期(2014年2月～ 8月)　:19名
  3期(2014年10月～翌3月):16名
- □ 社会イノベーター公志園
  決勝大会誘致
- □ 水産業の欧州視察
  第1回(2013年1月):15名
  第2回(2014年5月):12名
- □ 2度の未来創造ラウンド討議
- □ 市民向け公開フォーラム

↓

**イノベーターの育成**

**講師陣**

- ·有限責任監査法人トーマツ
- ·新日本有限責任監査法人
- ·(株)日本政策投資銀行
- ·(株)博報堂
- ·マッキンゼー·アンド·カンパニー
- ·NPO法人 アイ·エス·エル
- ·あらた監査法人
- ·あずさ監査法人

平成26年 10月5日 第3期 開講式



## 人口減少に挑む ～交流人口の拡大～

# 第二市民構想
# 長期滞在者の拡大

**定住人口の減少を支える旅行消費額**

定住人口1人減少による年間消費額の減少
121万円

||

**旅行消費額による支え**

外国人旅行者11人分(11.2万円/人)
または
国内旅行者(宿泊)26人分(4.7万円/人)
または
国内旅行者(日帰り)81人分(1.5万円/人)

第22回交通政策審議会観光分科会資料により作成

↑

**自然・食・文化施設(図書館など)**

## 人口減少に挑む ～ 住まい・滞在先～

⇒ I・Uターン，長期滞在者のために

**災害公営住宅の戦略的活用**

※ 整備箇所数：28地区　整備予定戸数：約2,200戸



# 5　気仙沼の生き方

## ～地方のモデルづくり～

# 気仙沼市震災復興計画

【復興の基本理念】

- **史上最大の犠牲者**
  「二度と繰り返さないこの悲劇」
- **自然に対する畏怖、畏敬の念**
  「自然と調和する都市構造と市民生活」
- **人々の経済的困窮**
  「市民の経済的安定と産業の再生」
- **産業基盤の壊滅的打撃**
  「生産性向上、構造改革の契機」
- **人々の優しさ、頑張り**
  「家族愛、他者への愛、郷土愛、
  愛の溢れるまちづくり」

【復興の目標】

- **津波死ゼロのまちづくり**
- **早期の産業復活と雇用の確保**
- **職住復活と生活復興**
- **持続発展可能な産業の再構築**
- **スローでスマートなまちとくらし**
- **地域に笑顔溢れるまちづくり**

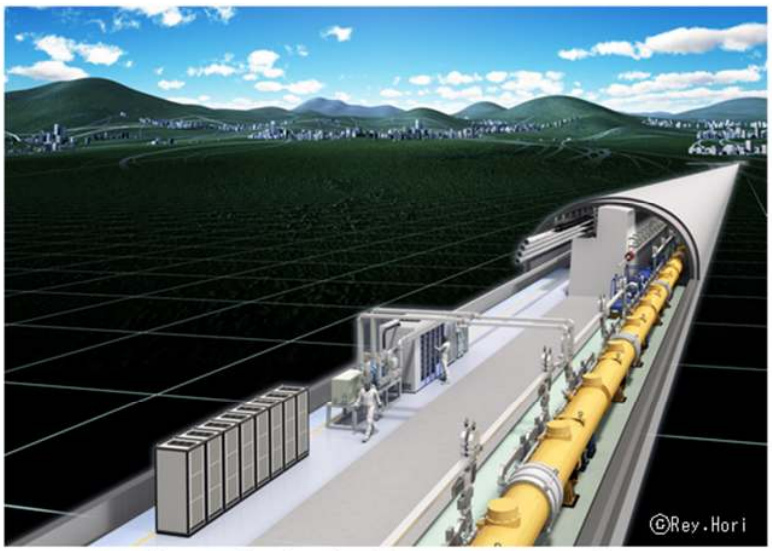


# *地方にある「世界の港町」*

- 海を中心に自然をベースとした生活
- スローシティ、スローフード
- 都会の真似はしない
- 産業は国際的に展開
- 日本一活気溢れる港町

# とっておきの話　ＩＬＣ (International Linear Collider)

この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。




地下トンネル内に建設されるＩＬＣのイメージ図

効果　：　国内外の研究者，技術者の移住や各国の企業が集まり，知的産業を中核とした国際都市が造られることになる。
〔建設費は約8,300億円　建設から30年間の経済効果は4兆3,000億円とも〕

気仙沼市はラボ（組立工場）建設予定。将来は研究施設や工場に。
研究者の住居地の候補。



# ありがとうございました。